

令和3年5月26日(水) 13:00～18:10

### 開催趣旨:

地震、津波、地すべり、土石流などの地質災害は近年世界各地で頻発している。地質災害科学に従事する者は、地質災害を科学的解明し、その情報を正確かつ迅速に発信することが要求されている。日本学術会議 IUGS 分科会においては、2015年3月に第3回国連防災世界会議においてジオハザード削減にかかる人材育成を旨とした国際ネットワーク形成ワークショップ、2015年11月に地球科学の人材育成：防災国際ネットワーク構築に向けた国内連携のあり方についてのワークショップ、2018年11月に「地質災害リスク軽減研究の最先端：地質科学は科学と社会にどう貢献できるのか？」と題した国際シンポジウムを開催した。本シンポジウムでは、世界各国で起きた津波、海底地質災害、土砂・斜面災害に関する最先端の科学研究を紹介し、その成果の具体的な社会実装に向けた取り組みを議論する。

### 司会

**大久保 泰邦** (日本学術会議連携会員、一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構技術参与)  
13:00 「シンポジウム趣旨説明 **北里 洋** (日本学術会議特任連携会員、早稲田大学教育・総合科学学術院招聘研究員)

### 第一部：海底地質リスク (コンビーナ：川村 喜一郎)

13:10 「地震、海底地すべり、津波」  
**戎崎 俊一** (理化学研究所戎崎計算宇宙物理研究室主任研究員)  
13:30 「Marine geohazards in New Zealand」  
**Joshu Mountjoy** (国立水・大気圏研究所、海洋地質学者)  
13:50 「海底地すべりによる津波のモデル化と災害軽減」  
**谷岡 勇市郎** (北海道大学理学研究院地震火山研究観測センター教授)  
14:10 「海底地質リスクと現在の課題」  
**川村 喜一郎** (山口大学大学院創成科学研究科准教授)

### 第二部：津波調査ガイドライン (コンビーナ：後藤 和久)

14:30 「Post-tsunami field survey - Case study at Sri Lanka」  
**Nalin Ratnayake** (モロツワ大学教授)  
14:50 「津波が沿岸地質に及ぼす影響についての緊急調査：国際調査研究の経験と課題」  
**西村 裕一** (北海道大学地震火山研究観測センター准教授)  
15:10 「津波数値解析における基盤データとその意義」  
**菅原 大助** (東北大学災害科学国際研究所准教授)  
15:30 「津波堆積物調査マニュアルの整備」  
**後藤 和久** (東京大学大学院理学系研究科教授)

### 第三部：大規模地質災害と社会実装 (コンビーナ：山崎 秀策)

15:50 「Seismicity and Potential Seismic Hazard of Thailand」  
**Passakorn Pananont** (カセサート大学助教授)  
16:10 「北海道における近年の斜面災害」  
**倉橋 稔幸** (国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所上席研究員)  
16:30 「西日本豪雨土砂災害」  
**西村 智博** (国際航業株式会社 公共コンサルタント部 部長)  
16:50 「Geohazards on the Azores archipelago」  
**Jose Pacheco** (Research Institute for Volcanology and Risk Assessment 所長)  
17:10 「北海道胆振東部地震の斜面災害」  
**山崎 秀策** (国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所研究員)

### 「パネルディスカッション：あるべき地質災害の社会実装のすがた」

17:30 後藤 和久・山崎 秀策・川村 喜一郎・大久保 泰邦

18:00 「Concluding remarks」 **John Ludden** (President of IUGS)

主催：日本学術会議地球惑星科学委員会 IUGS 分科会

共催：IUGS Task Group on Geohazards、日本地球惑星科学連合 (予定)

後援：公益社団法人東京地学協会、一般社団法人日本応用地質学会、公益社団法人日本地すべり学会、国際津波防災学会 (予定)、公益社団法人物理探査学会 (予定)、一般財団法人日本リモートセンシング学会 (予定)、海底地質リスク評価研究会

場所：オンライン配信